

Brown Bag Seminar

No. 067

オンライン

録画期間限定公開

(Zoom)

登録はこちら



2022 9.28 (水) 12:10 ~ 12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_x_NCbys1Qve8k04zo9w0ug

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

歯科インプラント治療の現状と未来

司会：横田 文彦 准教授 (Q-AOS 研究推進コーディネーター)

鮎川 保則 教授

九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座



皆さんはインプラント治療にどのようなイメージを抱いていらっしゃるでしょうか。痛い、怖い、高い、長持ちしない、このようなネガティブイメージをお持ちの方も少なくないと思います。今回はインプラント治療がどのようなものかを紹介しながら、治療のメリットデメリットについてお話ししたいと思います。また、九大病院で行っている最先端の治療をお見せします。今では型取りなしで歯が作れます。さらに、未来のインプラント治療の礎となるような研究成果も皆さんに見ていただきたいと思います。

福岡県北九州市出身の53歳。1993年九州大学歯学部卒業、1998年九州大学大学院歯学臨床系専攻修了。2017年九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座准教授を経て2021年から現職、とこのように人生のほとんどを福岡県で過ごしてきました。大学院時代から「インプラントが骨や歯肉に強く結合するにはどうすればよいか」を研究しています。また、義歯補綴(ほてつ)科・咬合補綴科長および再生歯科・インプラントセンター長として九大病院の4階でほとんど毎日外来診療をしています。補綴科は入れ歯や冠、ブリッジ、インプラントを用いて歯を失ったところに歯を入れる治療を主に担当する科で、日々患者さんの咀嚼機能の回復に取り組んでいます。

Key Words

歯科インプラント
咀嚼機能